

# 令和4年度宮城県

事業者のための化学物質に関する  
リスクコミュニケーションセミナー  
(10月17日)

北海道大学大学院工学研究院

竹田 宜人

# タイムスケジュール

- ① 13:55～14:25 (30分) リスクコミュニケーションとは  
(講義)
- ② 14:25～14:40 (15分) 個人演習  
住民からの質問を考える。
- ③ 14:40～15:10 (30分) グループ演習  
住民からの質問を10問にまとめる。班ごと発表。  
休息 (10分)
- ④ 15:20～15:50 (30分) グループ演習  
質問に対する回答を考える。班ごと発表。
- ⑤ 15:50～16:25 (35分) 演習を通じて気づいたこと  
について、発表。講師から総括。



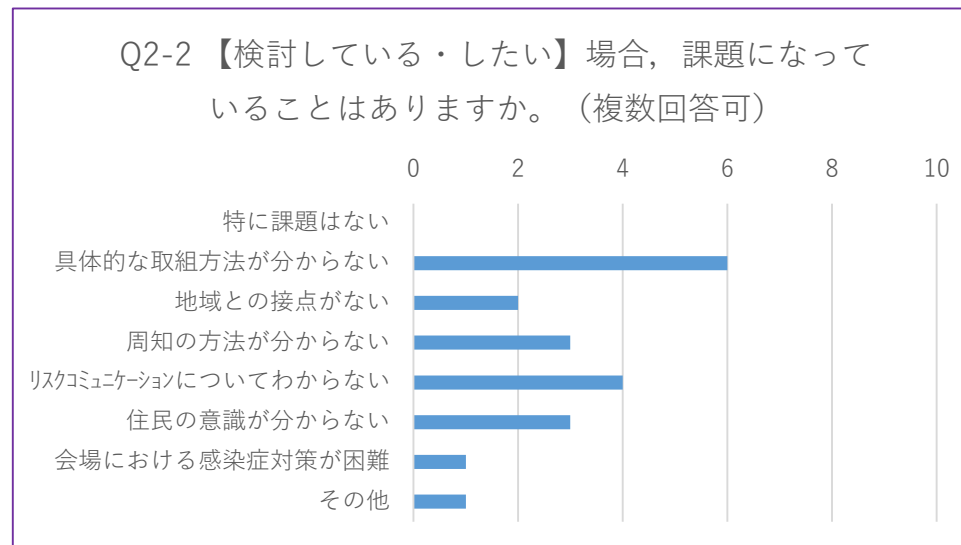
# 講演内容

## 1 最近の地域対話を取り巻く話題

- ① 基本的な考え（化管法）
- ② コロナ渦での地域対話のあり方について
- ③ 地域対話の一般化と対話の多様性
- ④ SDGsと地域対話の関係

## 2 防災とリスクコミュニケーション

環境省「地方公共団体環境部局における化学物質に係る災害・事故対応マニュアル策定の手引き(2022)」から ⇒ 事業者に求められていること



# 1 ① 基本的な考え

化管法は、事業者による化学物質の自主的な管理の改善を促進し、環境の保全上の支障を未然に防止することを目的に平成11年に制定。この法律により、PRTR制度とSDS制度を導入。(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)

## ◆ PRTR制度 (Pollutant Release and Transfer Register)

PRTR制度は、人の健康や生態系に有害なおそれがあり、かつ、環境中に広く存在すると認められる化学物質について、環境への排出量及び廃棄物に含まれる移動量を、事業者自らが把握し、都道府県を經由して国に届け出るとともに、国はその届出データを集計し、公表する仕組み。

**排出量**→大気への排出、公共用水域への排出、土壌への排出、埋立処分

**移動量**→下水道への移動、事業所の外への移動量 (廃棄物)

## ◆ SDS制度 (Safety Data Sheet)

SDS制度は、人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質を他の事業者に譲渡・提供する際、その性状及び取扱いに関する情報の提供を義務づける制度。

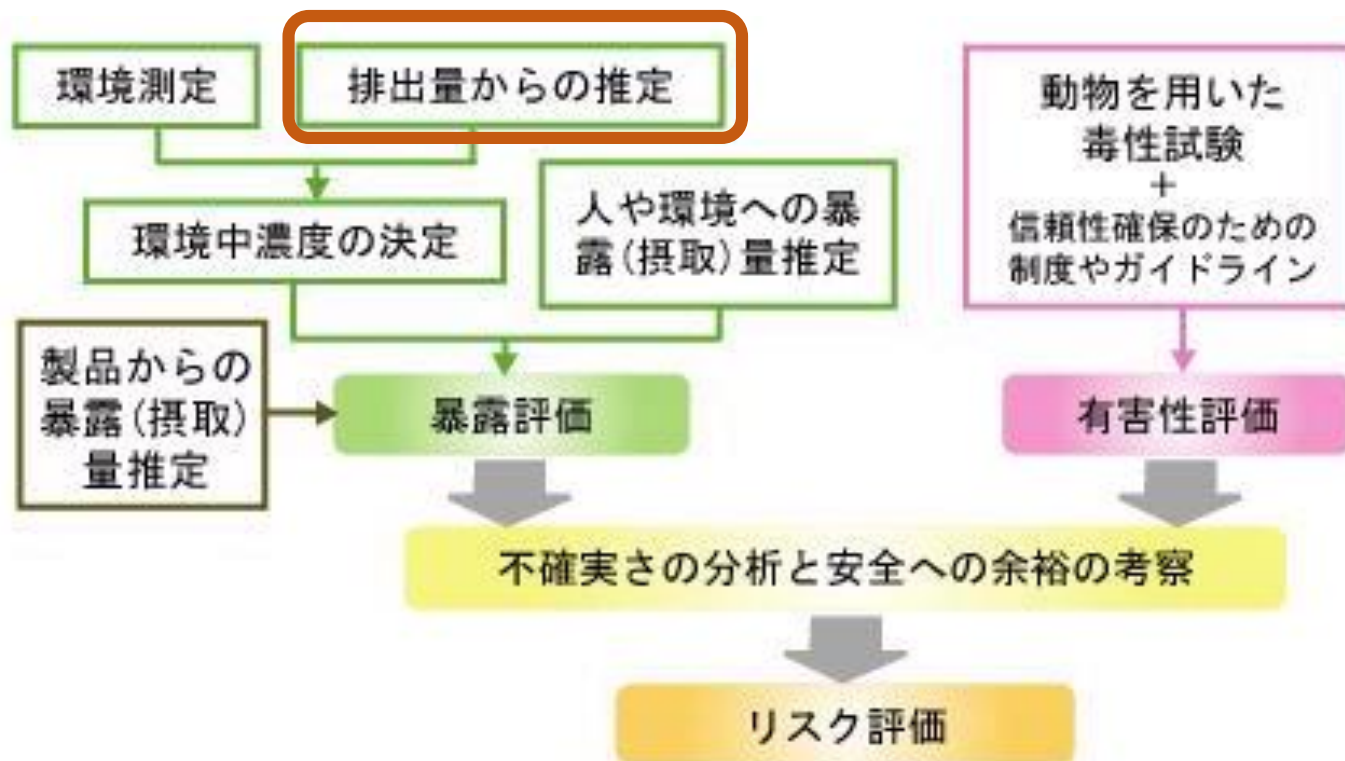


地域社会にとって、事業所で扱う化学物質は“リスク”である。  
リスクに係わる情報を関係者と共有して、適切な管理に繋げていく

# ① 基本的な考え

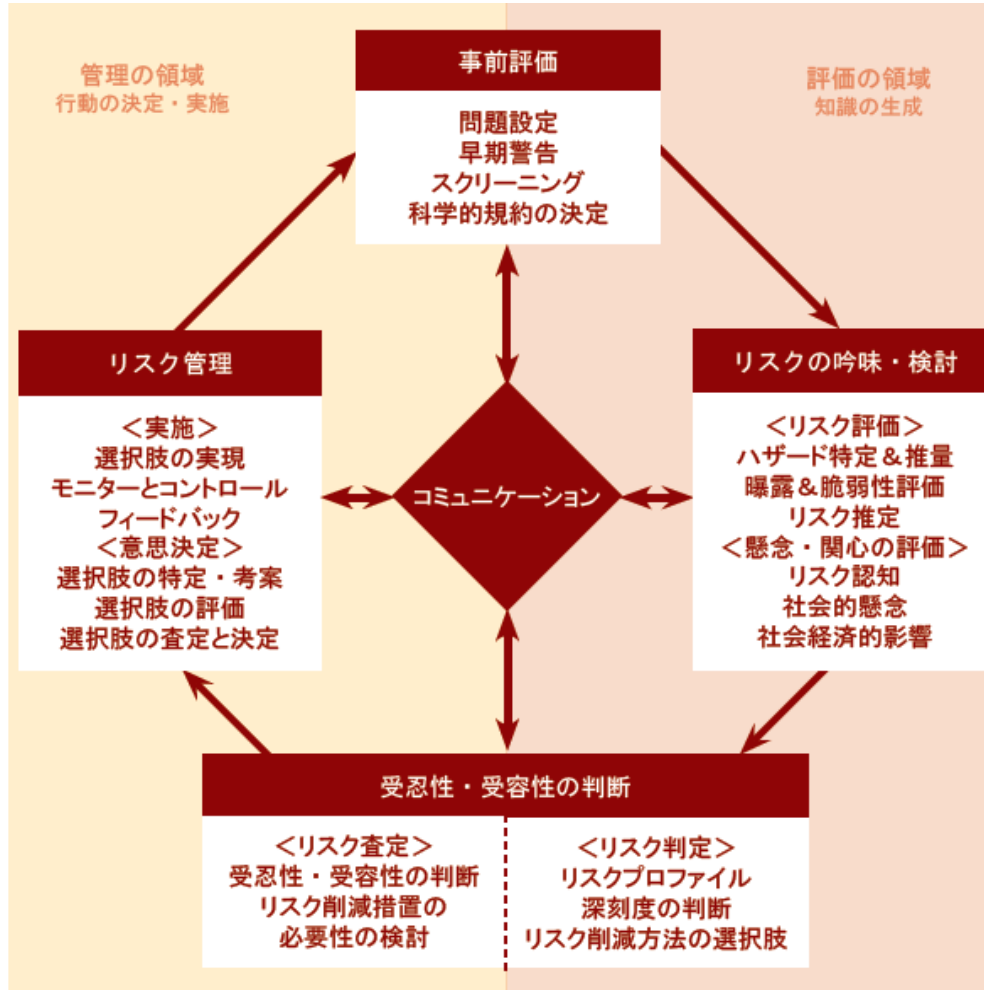
地域社会のリスクとは → 住民の健康や環境保全

リスク評価は、「暴露評価」によって推定された暴露量と、「有害性評価」による無毒性量(毒性が認められない最大の量)を比較し、さらに評価の不確実性を安全側に考慮することにより行われている。



# ① 基本的な考え

## I R G C リスクガバナンス



Renn, Ortwin et al. (2005), Risk Governance: Towards an Integrative Approach, International Risk Governance Council.

# 1 ② コロナ渦での地域対話のあり方について

## ウィズコロナにおける事業者と住民の地域対話の現状調査

### (1) 調査期間

2020（令和2）年8月16日～9月18日

### (2) 調査対象事業者

日化協レスポンシブル・ケア委員会会員企業119社。

### (3) 調査手法

Googleフォームによるオンライン回答（35事例）と調査票への記入、メール回答（24事例）の併用。 合計59事例

### 設問（抜粋）

- 令和2年度の御社の対面式の地域対話の状況について
- 判断の根拠となった事柄、延期後の実施予定、対話の対象者からのご意見の有無など
- 本年度の実施の可否を検討された際に参考にされたガイドが
- 新型コロナ対策を踏まえた地域対話実施への考えのをまとめや方針のを策定。
- 新型コロナウィルス対策としての、地域住民への情報提供や対話の工夫

## ② コロナ渦での地域対話のあり方について

### 令和2年度の対面式の地域対話の状況

|                |         |
|----------------|---------|
| 今年度は予定していなかった。 | 10      |
| 予定していたが中止した。   | 26      |
| 予定していたが、延期した。  | 6       |
| 感染症対策を行い、開催した。 | 6       |
| その他            | 11（未定7） |

#### 中止判断の根拠となった事柄（記入されたテキストからのキーワード）

対象者との協議、参加者に高齢者が多い、感染対策（マスク着用、密集回避）、政府・官公庁の緊急事態宣言、社内通達により大規模集会の自粛、近隣自治会との相談、200名規模の集会・観光バスへの乗車・飲食を伴うなどのリスク、社内ガイドライン、県・市等の自治体の要請事項、各自治会長との意見調整、グラウンド貸し出しや工場見学中止、先方判断、書面会議へ変更、対話対象者にも状況を説明、学生見学は先方が中止判断、地域行事中止、健康と安全確保を第一優先、工場操業に関わる影響の考慮、県の感染予防対策指針



## ② コロナ渦での地域対話のあり方について

### コロナ渦での地域対話の現状（対話の制限により、変わっていったもの）

#### JALリモート工場見学

##### オンラインで飛行機のことを知ろう！

日本航空では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため工場見学を休止しております。  
今回新たに、どこでも気軽にご視聴いただける「リモート工場見学」を開催いたします。  
みなさまのご参加をお待ちしております。  
※必ず「ご案内・注意事項」を確認のうえご予約ください。

↓ 1. ご案内

↓ 2. 注意事項

↓ 3. リモート工場見学 開催日程表

↓ 4. 予約から当日の参加方法

#### 1. ご案内

実施方法：Zoomウェビナーによる配信

開催時刻：2回/日 11:00コース、15:00コース（各コース約45分）

参加定員：200名（定員に達した場合、予約受付を終了させていただきます）

内 容：航空教室、展示エリア紹介、格納庫案内（格納庫からのライブ中継はございません）

申込方法：リモート工場見学専用予約サイトにて参加登録（予約申込制）

参加費：無料（通信費用はお客さまにてご負担ください）

# ② コロナ渦での地域対話のあり方について

## 第13回 レスポンシブル・ケア 岩国・大竹地区地域対話 (書面開催)

### 予稿集



書面開催

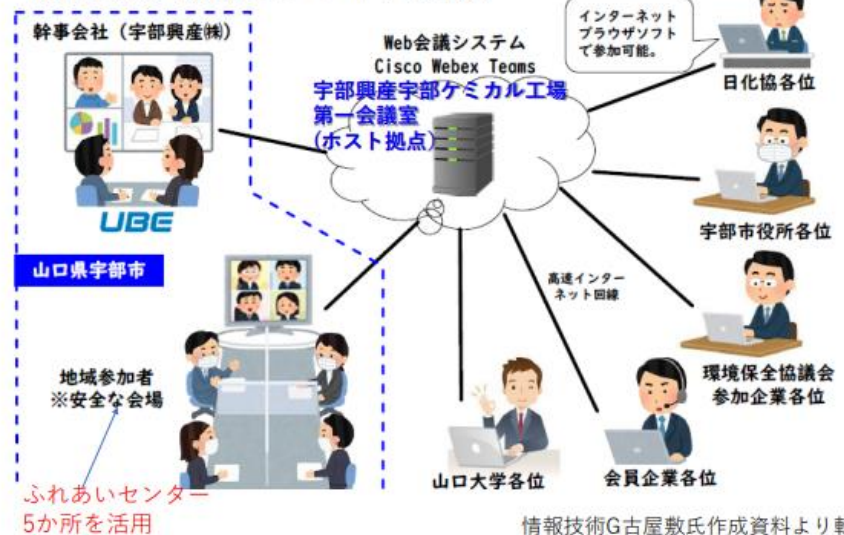
アンケート

2022年度から規模を縮小して  
対面式も再開

第15回 (2020年度) 日化協レスポンシブル・ケア賞受賞案件  
発表資料新型コロナウイルス禍における 地域対話の継続  
宇部興産株式会社 宇部ケミカル工場 環境安全グループ  
環境チーム

(開催イメージ)

### 開催方法 (Webオンライン会議)



情報技術G古屋敷氏作成資料より転載

### 開催風景

ふれあいセンター (市民の参加拠点)



Web接続

宇部ケミカル工場  
第一会議室 (ホスト拠点)



# 1 ③ 地域対話の一般化と対話の多様性

## 新幹線要対策土 処分法は 札幌 3回目オープンハウス

04/10 21:05 更新



要対策土の受け入れ対策を紹介した「オープンハウス」

北海道新幹線札幌延伸に伴う札幌トンネル工事で発生するヒ素などの重金属を含む要対策土について、札幌市と鉄道建設・運輸施設整備支援機構は10日、処分候補地としている手稲区手稲山口地区での受け入れ対策を紹介する「オープンハウス」を同区の星置地区センターで始めた。市と機構は寄せられた住民意見も踏まえ、早期の受け入れ決定を目指す考え。

開催は昨年11、12月に続き3回目。市と機構は要対策土約110万立方メートルのうち約90万立方メートルを手稲山口地区のごみ最終処分場「山口処理場」で受け入れる方針を固めている。

会場には約30枚のパネルを設置。要対策土で造る盛り土をポリエチレン製の二重シートで封じ込めることや、地下水などへの影響を長期間モニタリングすることなどを説明し、粉じんに含まれるヒ素の量は「人の健康へのリスクは十分に小さい」などとしている。

来場者の質問には市や機構の職員が個別に回答。手稲区の無職男性(75)は「安全と言われても、健康や生活環境への影響は心配で不安は残る」と話した。

会場外では市民団体「手稲山口の新幹線工事要対策土から星置と周辺地域を守る会」が星置地区での住民説明会開催を求めて抗議活動を行った。

オープンハウスは11日も午前10時～午後5時で行われる。無料。(平岡伸志)

## 札幌市が公表している当日の意見

### 3.トンネル発生土について

#### ご意見

- 北海道新幹線村山トンネルの開通で出た大野・村山の土捨て場について「条件不適土」という言葉が報じられているが、これは何か。「要対策土」とは異なるのか。
- 渡島トンネルで基準値の270倍?の有害重金属を含んだトンネル残土が出たことを報道で知りました。その時の事前調査は「安全」。事前調査の値で安心はできないと実感しています。
- 渡島トンネルで基準値をはるかに超えた「条件不適土」が出たことを2年も公表せずにいた事にぬい切れぬ「不信感」を抱いています。何を説明されても疑いの目で見てしまっています。

#### 回答

- 「対策土」とは、国土交通省のマニュアル<sup>※</sup>に基づいて対策を行う土で、自然由来重金属等を含むもので、マスキング等が使用している「条件不適土」という言葉は、「受入地の搬入条件に適合しない対策土」のことです。よって、同じ「対策土」です。  
※「建設工事に伴う自然由来重金属等含有土砂への対応マニュアル(暫定版)」(国土交通省、平成22年3月)
- 渡島トンネルの事業は、対策工として原地盛留工法などが選定された受入地において、当該地へ搬入する前に当該地地質による吸着性能や既存調査の結果から判明した自然由来重金属等の濃度や種類などの条件で試験を行い、盛土高さや最大溶出量が決定されていたところですが、切羽から出現した対策土がその検封条件と異なっていたという事象です。手稲山口地区における対策工はシートによる遮水工封じ込めを選定しており、そのような事象は生じないものと考えています。

- 地元の住民にとっては、自分達の健康に直接関わるものですので、この地域に住み続けていくことも含めて大きな選択になると思います。
- 健康の被害がないとはっきり言われたがおかしい。
- 要残土は人体に本当に影響がないのか???
- ヒ素に関するリスク評価が急性影響以上のみしか説明していないため、少ない影響であれば何も責任を負わないように取れます。周辺に住んでいる身としては反対せざるを得ません。
- ヒ素が空気に触れて亜硫酸になる事も書かれていません。
- 地下水や農作物・人体への影響に不安を抱いています。
- 土中のヒ素が空気に触れ亜硫酸になった時に生物・環境にもたらずシミュレーションが曖昧、わかりません。
- 子供の健康を考えると対策土受け入れ反対。
- 妊婦・子どもにとっても安全・安心という事をもっと深掘りして考え抜いて対策等して欲しい。
- 未来の子供達の為に少しでも危険なものは残さないで欲しい!!
- トンネル発生土から有害物質の発生が心配です。しかし現在の科学技術をもってすれば人体への影響を止める事は可能と考えます。従って1日も早く処分地を決定できるよう応援します。皆様、ご苦労様です。ガンバ。

- ヒ素は、自然界で様々な化合物で存在しますが、その中でもヒ酸や亜ヒ酸などの無機ヒ素の毒性が強いことがわかっています。ヒ素は、酸素に触れない(還元性と言います)環境では亜ヒ酸として存在しますが、空気に触れると(酸化性)ヒ酸になるといわれています。
- リスク評価ではヒ素をすべて無機ヒ素として扱うことで、より安全性の高い検討を行い、リスクが十分に小さいことを確認しています。さらに、封じ込めによりリスクの低減を図ります。

- 山口地区はブランド品(ミシュランガイド)である農作物(サッポロスイカ、大浜みやこかぼちゃ)が収穫できます。対策土の影響で食べる人・買う人もなくなるのかもしれない。又、近くには小中学校、北都病院、幼稚園もあり影響が考えられます。回答をお願いします。
- 山口地区で生産される農作物への風評被害が心配。
- 山口の候補地と近隣の農地(畑)の位置関係や対策土から流出する重金属の可能性について説明が有ると良いと思いました。

- 盛土施工の前・中・後における地下水の水質等の測定データを公表し、また、自然由来重金属等に関する正しい情報や、受入地で実施する対策工の安全性などについてホームページ等で広く発信することで、風評被害が起らないよう全力で取り組みます。
- 対策をしっかりと行うことで、重金属が基準値未満であることをモニタリングにより確認し、安全性について、地域の方々のほか、広く周知していくことで、ご不安を取り除くことが風評被害を発生させない策だと考えています。鉄道・運輸機構と札幌市で連携を取りながらしっかりと対応して参ります。

### ③ 地域対話の一般化と対話の多様性

札幌市が公表している当日の意見 → トランスサイエンス的課題

| 内容                | 意見数 |
|-------------------|-----|
| 山口以外に持っていく        | 44  |
| 周辺地域に説明会を開く       | 40  |
| OH等で情報提供を継続する     | 38  |
| 地域振興策を提案する        | 18  |
| 地域の交通対策を行う        | 15  |
| リスク評価シミュレーションの見直し | 15  |
| 工事中のモニタリングへの提案    | 11  |
| 意見の傾聴の継続          | 8   |
| 補償、責任を行う          | 8   |
| 工事中の緊急時対応を策定      | 7   |
| 評価結果について第三者意見を聞く  | 4   |
| 環境保全を行う           | 3   |
| 以下は具体的な提案、コメント    |     |
| 工法的な事項            | 16  |
| 工事的な事項            | 15  |
| 早期開業要望            | 13  |
| 安全な工事要望           | 11  |
| 事業の中止要望           | 11  |
| その他               | 6   |

# 1 ④ 持続可能な開発目標（SDGs）と地域対話の関係

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニウム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さない（leave no one behind）ことを誓っています。（外務省HPより）



# 化学物質管理や環境コミュニケーションに係る項目

【目標3】 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。

【ターゲット3.9】 2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる。

【目標6】 すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。

【ターゲット6.3】 2030年までに、汚染の減少、有害な化学物質や物質の投棄削減と最小限の排出、未処理の下水の割合半減、およびリサイクルと安全な再利用を世界全体で大幅に増加させることにより、水質を改善する。

【ターゲット6.b】 水と衛生に関わる分野の管理向上における地域コミュニティの参加を支援・強化する。

# 化学物質管理や環境コミュニケーションに係る項目

【目標12】持続可能な消費と生産のパターンを確保する。

【ターゲット12.4】2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じて化学物質やすべての廃棄物の環境に配慮した管理を達成し、大気、水、土壌への排出を大幅に削減することにより、ヒトの健康や環境への悪影響を最小限に留める。

【ターゲット12.c】開発途上国の特別なニーズや状況を十分考慮し、貧困層やコミュニティを保護する形で開発に関する悪影響を最小限に留めつつ、税制改正や、有害な補助金が存在する場合はその環境への影響を考慮してその段階的廃止などを通じ、各国の状況に応じて、市場のひずみを除去することで、浪費的な消費を奨励する、化石燃料に対する非効率な補助金を合理化する。

【目標16】平和と公正をすべての人に

【ターゲット16.7】あらゆるレベルにおいて、対応的、包摂的、参加型及び代表的な意思決定を確保する。

【目標17】持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

【ターゲット17.16】全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。

# 化学物質管理やリスクコミュニケーションに係る項目

## 社会貢献活動 102-12,102-15,103-1 花王のアプローチ

### 花王のアプローチ

花王は、豊かな生活文化の実現と社会のサステナビリティにつながるよう、「次世代を育む環境づくりと人づくり」をテーマに社会貢献活動を推進しています。

事業で直接アプローチできない課題については、地域社会やNGO/NPOと連携しながら、長期視点で取り組んでいます。

また、社会との接点をつくり、社員の学びの場をつくるため社員

参加型の活動や、モノづくりの基盤を支える文化の発展のためのメセナ支援、(財)花王芸術・科学財団による活動も行なっています。

一方、2018年7月のESG部門の新設に伴い、従来の社会貢献活動に加え、R&D活動や事業活動とより関連が深く、長期的な視点で企業価値向上につながる活動をグローバル一体となって行なっていくための検討を進めています。

### 社会的課題と花王が提供する価値

#### 認識している社会的課題

貧困や教育、水やジェンダー平等など、国際社会全体で取り組むべき社会的課題の解決に向けて、企業がその事業活動を通して、もしくは寄付等を通じて取り組むことができます。

#### 花王が提供する価値

花王は事業活動を通じて社会のサステナビリティに貢献するとともに、事業では直接アプローチできない社会的課題の解決をもターゲットとして活動を行ない、誰もが豊かで快適な生活を実現できるよう、よき企業市民として広く社会に貢献していきます。

「環境」「教育」「コミュニティ」の3つを重点分野に、自社の持つリソースや強みを活かし、衛生・清潔を中心とした子どもたちの正しい生活習慣の定着、将来の科学技術や地域社会を担う人財の育成などの教育支援を行なっています。

また、多様なコミュニティとともによりよい社会を築くことをめざし、各地域のコミュニティが抱える社会的課題の解決や地域活性化への貢献、メセナなど豊かな生活文化の発展に関わる支援を行なっています。

花王は、衛生や水、健康や生活の質の向上など、暮らしに身近な社会的課題に取り組み、常に社会の立場からそれらの活動の意義を考え、世界中で毎日の生活になくはない存在になりたいと考えています。

#### 「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスク

ステークホルダーに対する適切な配慮の欠如やエンゲージメントの不在は、顧客や社員をはじめとするすべてのステークホルダーからの信頼を失うだけでなく、花王の将来的なブランド価値の毀損も招くおそれがあります。

#### 「2030年のありたい姿」の実現に関わる機会

花王は、消費財メーカーとして常に生活者に寄り添う事業活動を行なってきました。それは個々の生活者の利便性や満足度の向上を通して、社会によりよい働きかけをしたという思いを形にする活動でもあります。

#### 貢献するSDGs



花王サステナビリティデータブック 2019

KPIs | Life Style Plan | HPO | GRI Standards | ISO 26000 | Environmental | Human Resource | Governance

## 「2030年のありたい姿」の実現に関わるリスク

ステークホルダーに対する適切な配慮の欠如やエンゲージメントの不在は、顧客や社員をはじめとするすべてのステークホルダーからの信頼を失うだけでなく、花王の将来的なブランド価値の毀損も招くおそれがあります。

## 貢献するSDGs





## 2 防災とリスクコミュニケーション 自然災害と化学工場の事故



佐賀県大町町佐賀鉄工所からの重油流出事故（令和元年8月30日）  
<https://www.saga-s.co.jp/articles/gallery/420148?ph=1>

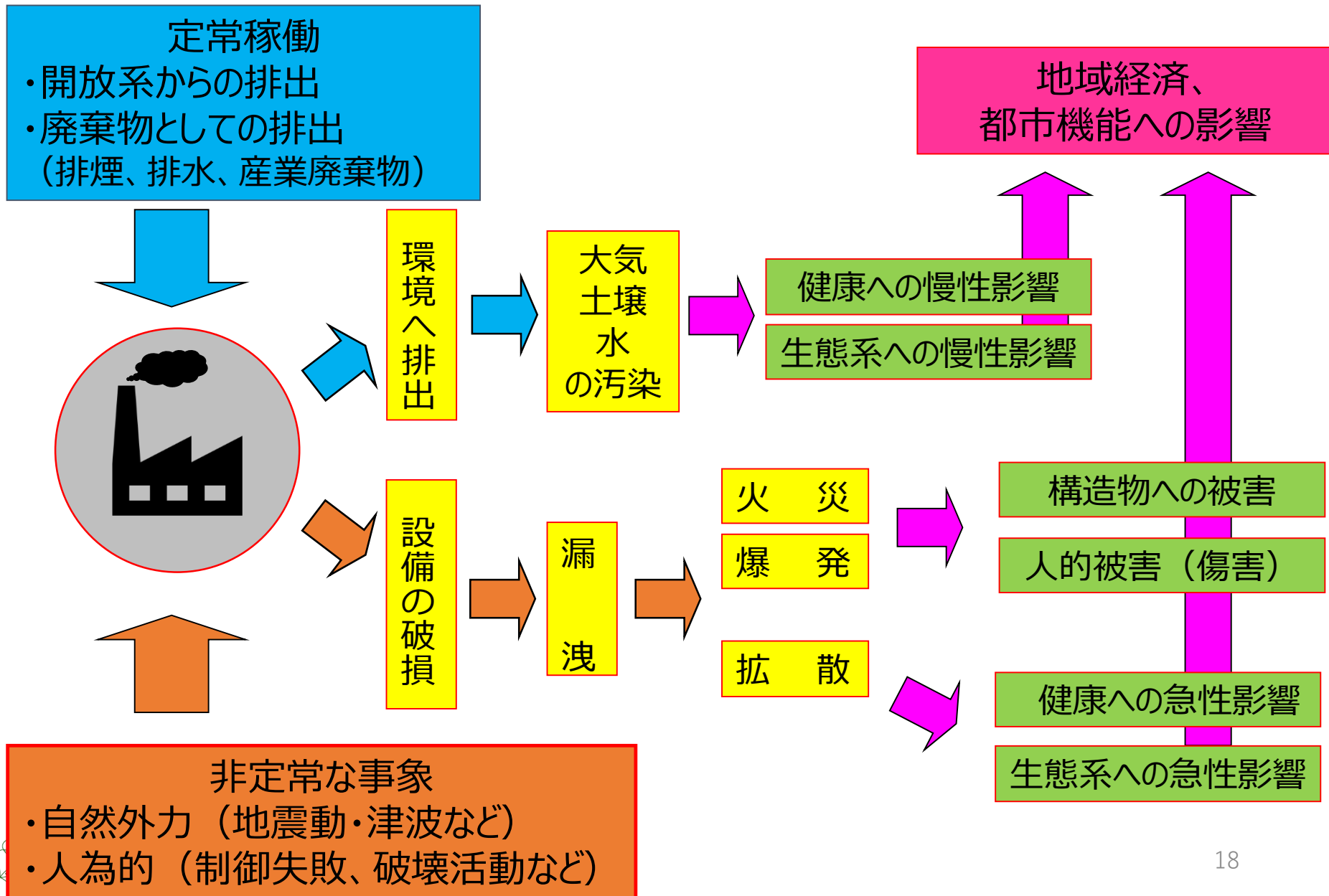


地域  
台風の影響でメッキ工場から毒物（シアン化ナトリウム）が流出 周辺住民に呼びかけ（福島県郡山市）  
<https://www.fnn.jp/posts/2019101700000012FTV>

### 最近の化学物質が漏洩した自然災害

|            |                       |
|------------|-----------------------|
| 令和元年 8月27日 | 前線に伴う大雨（佐賀県等北九州）      |
| 令和元年 9月 9日 | 令和元年台風15号（千葉県等南関東）    |
| 令和元年10月12日 | 令和元年台風19号（広域）         |
| 令和元年10月25日 | 令和元年台風21号（千葉県～福島県：広域） |
| 令和2年 7月 7日 | 令和2年7月豪雨（西日本）         |

# 化学工場が関わる化学物質のリスク



# 過去の災害事例



平成30年7月7日午前10時ごろ、岡山県総社市下原

「朝日アルミ産業」での爆発事故

<https://www.asahi.com/articles/photo/AS20180707001149.html>

19  
朝日新聞



# 過去の災害事例

## 総社工場爆発 溶解炉冠水が原因か 民家に延焼、住民十数人けが

平成30年7月6日午後11時35分ごろ、総社市下原「朝日アルミ産業」の工場で爆発があり、火災が発生した。工場（平屋約2100平方メートル）のほか、周辺の民家や車庫計3棟が全焼、爆風で民家や店舗の窓ガラスが割れるなどした。工場は高梁川沿いに立地。県警などは冠水により、アルミを溶解する炉に水が流れ込み、化学反応を起こした可能性があるとみて原因を調べている。親会社のアサヒセイレン（大阪府）などによると、工場は普段、24時間体制で溶解炉を運転。7月6日は午前中から大雨に備えて炉の停止作業を進め、午後10時ごろに従業員は全員退社。現場はJR総社駅から南西約2.5キロ。県によると、岡山市中心部や高梁市などでも爆発音と振動が確認された。

<http://www.sanyonews.jp/article/746732> 山陽新聞を参考



撮影：アジア航測（株）

- この災害に関係する人は誰ですか？
- 他にどんな懸念やリスクが考えられますか？
- あなたは、この近くに住んでいます。何が心配ですか？



# 自治体環境部局における化学物質に係る事故対応 マニュアル策定の手引き（環境省2009：改定2022）

東日本大震災における津波火災や事業所の被災（2011）  
自然災害による化学物質の流出事故の発生（2018～）

災害を意識した化学物質管理制度の見直し



## 2. 3 地域住民等とのリスクコミュニケーションの促進

事具体的には事業者による事故の未然防止に関する取組だけではなく、万一の事故発生に関する被害の局限化や軽減方法をテーマに、ステークホルダー（住民、事業者、地方公共団体等）による情報共有と対話を関係部局と連携して行うことが環境部局には求められる。リスクコミュニケーションの場において、以下の情報に関するステークホルダーの理解を深めておくことが望ましい。

- ・事故の際に、どのようにして情報が地域住民へ伝えられるか。（連絡網、広報車等。）
- ・伝えられるべき情報の内容（避難経路、避難先、有害性や拡散シミュレーションの結果に基づき想定される事故の状況、本手引き2.2「事業所等に関する情報の整理」や3.4「応急措置の実施支援」に関する情報など）
- ・事故の際に、地域住民はどのように対応すべきか。（避難する、室内にとどまる等。）
- ・事故後に、地域住民は事故についてどこへ連絡・相談すればよいか。

市民及び事業者とのコミュニティ活動の場の確保と推進、防災訓練等を通じた市民及び事業者との連携 → 減災を目的とした平常時のリスクコミュニケーションの重視

# リスクコミュニケーションの実践

## 様々なリスクコミュニケーションの形・・・地域との対話と信頼の醸成

- 様々な形態
- 日常的な対話
- 様々な話題
  - ・地域の環境保全
  - ・工場周辺の保全
  - ・騒音、臭気その他
  - 交通、植栽、社員マナー等々
  - ・教育（見学等）

### 通常のコミュニケーション

- 交流会・お祭り
- 清掃・美化活動
- 緑化活動
- 啓発活動
- 防災訓練等・・・

### 環境情報開示

- CSR報告書（社会、環境）等
- ホームページ、パンフレット
- サイトレポート

### リスクコミュニケーション

- 工場見学会
- 環境モニター・パトロール
- 地域対話・環境懇談会
- JRCC地域対話 等・・・

### 現場の公開

- 工場見学
- 職場体験

### 対話

- 懇談会
- 環境学習支援

仮想の工場の環境管理者として、市民からの質問を想定する。工場に対してどんなことを考えているのだろうか？何を聞きたいだろうかなどを市民の立場で考える。

② 14:25~14:40 (15分) 個人演習

住民から想定される質問を各自5問考える。

③ 14:40~15:10 (30分) グループ演習

住民からの質問を10問にまとめる。班ごと発表。

休息 (10分)

④ 15:20~15:50 (30分) グループ演習

質問に対する回答を考える。班ごと発表。

⑤ 15:50~16:25 (35分) 演習を通じて気づいたこと

について、発表。講師から総括。



# 【宮城化学安全工業】

- 基礎化学品を製造しており、備蓄用のタンクやプラント、排気用の煙突がある。
- 内陸部に立地し、先の豪雨の際には浸水被害を受けた。
- 国道に隣接しており、被災者を受け入れたことがある。
- PRTR対象物質のトルエン、ベンゼンを大気に排出し、亜鉛を下水道に排出している。河川放流はない。井戸を雑水として利用。
- 大防法、水濁法、騒音振動規制法等の対象事業所である。
- ここ10年、周辺が急速に宅地化してきた。特にトラブルはないが、最近、近隣に煙突高ほどのマンションが建設された。
- 緑化対策に熱心で、多くの木が敷地内に植えられている。
- 従業員のほとんどは車通勤であり、正門近くにコンビニがある。
- プラントの増設が行われており、建設用車両の出入りがある。
- 年に1回、住民向け工場見学会を開催している。

